

平成29年度 親子通保護者向け 児童発達支援 評価表（公表）

平成30年3月23日

配布数125部 回収数125部

児童発達支援センター「ひまわり」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	121 (97%)	3 (2%)	0 (0%)	1 (1%)
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	115 (92%)	4 (3%)	0 (0%)	6 (5%)
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(注釈Ⅰ)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	113 (90%)	3 (2%)	0 (0%)	9 (7%)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	115 (92%)	7 (6%)	0 (0%)	3 (2%)
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(注釈Ⅱ)が作成されているか。	119 (95%)	3 (2%)	0 (0%)	3 (2%)
	6	児童発達支援の提供すべき「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」の支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	116 (93%)	2 (2%)	0 (0%)	7 (6%)
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	117 (94%)	4 (3%)	0 (0%)	4 (3%)
	8	活動プログラム(注釈Ⅲ)が固定化しないよう工夫されているか。	110 (88%)	6 (5%)	0 (0%)	9 (7%)
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	119 (95%)	1 (1%)	0 (0%)	5 (4%)
	11	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	119 (95%)	3 (2%)	0 (0%)	3 (2%)
	12	保護者に対して計画的に家族支援(家庭訪問、ペアレントトレーニング(注釈Ⅳ)、クラス参加会等)が行われているか。	108 (86%)	6 (5%)	0 (0%)	11 (9%)
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	109 (87%)	10 (8%)	0 (0%)	6 (5%)
保護者 への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	110 (88%)	10 (8%)	0 (0%)	5 (4%)
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催、定期的なグループワークの開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	84 (67%)	19 (15%)	3 (2%)	19 (15%)
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	110 (88%)	4 (3%)	0 (0%)	11 (9%)
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	113 (90%)	5 (4%)	0 (0%)	7 (6%)
	18	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	58 (46%)	22 (18%)	2 (2%)	43 (34%)
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	110 (88%)	1 (1%)	0 (0%)	13 (10%)
非常時 等の 対応	20	緊急時の対応、不審者に対する対応、感染症対応を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	69 (55%)	15 (12%)	6 (5%)	35 (28%)
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	56 (45%)	16 (13%)	7 (6%)	46 (37%)
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている。	107 (86%)	11 (9%)	2 (2%)	5 (4%)
	23	事業所の支援に満足しているか。	117 (94%)	6 (5%)	0 (0%)	2 (2%)

今年度初めて、厚生労働省が「児童発達支援ガイドライン」を策定しました。目的として、児童発達支援について、障害のある子どもやその家族に対して質の高い児童発達支援を提供するため、児童発達支援センター等における児童発達支援の内容や運営及びこれに関する事項を定めるものということ。また、児童発達支援センター等の実情に応じて創意工夫をはかり、その機能及び質の向上にを図ることになります。

その中に、保護者による児童発達支援評価と職員による自己評価の実施が義務付けられるようになってきていることから、今回保護者の皆様より児童発達支援評価を行なっていただきました。ご協力いただきありがとうございます。

評価結果より、緊急対応や感染症対応、不審者への対応などのマニュアルの整備や訓練の状況などの点で職員研修の実施報告をしご理解をいただけるように努めてまいります。

平成29年度 毎日通保護者向け 児童発達支援 評価表 (公表)

平成30年3月23日

配布数84部 回収数77部 回収率92%

児童発達支援センター「ひまわり」

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	65 (84%)	8 (10%)	2 (3%)	2 (3%)
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	64 (83%)	6 (8%)	1 (1%)	6 (8%)
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(注釈 i)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	66 (86%)	6 (8%)	2 (3%)	3 (4%)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	64 (83%)	8 (10%)	1 (1%)	4 (5%)
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(注釈 ii)が作成されているか。	71 (92%)	3 (4%)	0 (0%)	3 (4%)
	6	児童発達支援の提供すべき「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」の支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	70 (91%)	3 (4%)	0 (0%)	4 (5%)
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	73 (95%)	3 (4%)	0 (0%)	1 (1%)
	8	活動プログラム(注釈 iii)が固定化しないよう工夫されているか。	69 (90%)	3 (4%)	0 (0%)	5 (6%)
	9	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の同年代の子どもと活動する機会があるか。	55 (71%)	5 (6%)	7 (9%)	10 (13%)
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	71 (92%)	4 (5%)	0 (0%)	2 (3%)
	11	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	76 (99%)	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)
	12	保護者に対して計画的に家族支援(家庭訪問、ペアレントトレーニング(注釈 iv)、クラス参加会等)が行われているか。	72 (94%)	4 (5%)	0 (0%)	1 (1%)
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか。	72 (94%)	5 (6%)	0 (0%)	0 (0%)
保護者への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	75 (97%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催、定期的なグループワークの開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	66 (86%)	6 (8%)	0 (0%)	5 (6%)
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	70 (91%)	6 (8%)	0 (0%)	1 (1%)
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	68 (88%)	6 (8%)	0 (0%)	3 (4%)
	18	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	72 (94%)	3 (4%)	0 (0%)	2 (3%)
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	71 (92%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (8%)	
非常時等の 対応	20	緊急時の対応、不審者に対する対応、感染症対応を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	62 (81%)	4 (5%)	2 (3%)	9 (12%)
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	72 (94%)	1 (1%)	1 (1%)	3 (4%)
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている。	69 (90%)	5 (6%)	0 (0%)	3 (4%)
	23	事業所の支援に満足しているか。	73 (95%)	4 (5%)	0 (0%)	0 (0%)

今年度初めて、厚生労働省が「児童発達支援ガイドライン」を策定しました。目的として、児童発達支援について、障害のある子どもやその家族に対して質の高い児童発達支援を提供するため、児童発達支援センター等における児童発達支援の内容や運営及びこれに関する事項を定めるものということ。また、児童発達支援センター等の実情に応じて創意工夫をほかり、その機能及び質の向上を図ることになります。

その中に、保護者による児童発達支援評価と職員による自己評価の実施が義務付けられるようになっていることから、今回保護者の皆様より児童発達支援評価を行なっていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

評価結果より、地域との交流内容の検討や改善を図ること、また、緊急対応や感染症対応、不審者への対応などのマニュアルの整備や訓練の状況などの点で職員研修の実施報告をしご理解をいただけるように努めてまいります。